

伊勢遺跡で火起こし体験



昔の人の苦勞と知恵に感心

物部小学校6年生が地元の伊勢遺跡を訪れました。伊勢遺跡保存会、滋賀県地球温暖化防止活動推進員の協力のもと、火起こしを体験しました。

児童たちは「大変で手が痛くなったけど、火が起きたときはスッキリした!」「昔の人の知恵はすごい」と、楽しみながら取り組みました。

5月16日、20日 | 伊勢遺跡

赤十字奉仕団啓発展示



5月は赤十字運動月間 いざというときの備えのために

守山市赤十字奉仕団が啓発展示を行いました。赤十字奉仕団の活動や災害時の非常持ち出し品などの防災情報が展示されたほか、新聞紙で作るスリッパ、紙食器などの災害時に役立つ手作り体験スペースもあり、来場者は「いざというときに手軽に作れる」と、作り方を熱心に聞いていました。

5月13日~20日 | 市立図書館

野菜の収穫



みんなで育てた野菜の収穫 ジャガイモいっぱい見つけるぞー!

もりの風こども園の4・5歳児113人が、ジャガイモとタマネギの収穫をしました。勝部営農クラブの協力のもと、園児たちが植えて育ててきたジャガイモを、よいしょ、よいしょ、とみんなで茎を抜き、ごろごろ転がっているじゃがいもを拾いました。

たくさん取れた野菜は、給食でおいしく食べる予定です。

5月25日 | 勝部町の畑

ウクライナ避難民支援募金活動



仏教会が駅利用者に支援呼びかけ 県国際協会を通じて避難者に寄付

ロシアの軍事侵攻で、ウクライナから県内へ避難した人々を支援したいと、守山市仏教会12人が守山駅前前で募金活動を行いました。毎日報道されるウクライナの悲惨な光景に心を痛めたことをきっかけに、北脇 光昭会長は「少しでも救援救助の役に立てれば」と活動を決意。駅の利用者も呼びかけに応じて募金をしていました。

5月17日 | JR守山駅西口・東口



守山市の人口

令和4年5月31日現在
(前月比)

人口	85,315 (+ 99)
男	41,964 (+ 14)
女	43,351 (+ 85)
世帯数	34,229 (+ 95)



双眼鏡

黄色いヒマワリの花言葉は、「未来をみつめて」だとい

う。最近、コロナ禍の長期化から元氣・活気を取り戻すため、ヒマワリを育てる活動が盛り上がっている▼今年度は、市内の子もたちや市民に種を配り、家庭で育ててもらい、守山のまちいっぱいヒマワリの花を咲かそうというプロジェクトを実施している▼ヒマワリは家庭でも育てやすく、「ヒマワリの芽が出たよ」「元気に育っているよ」と声を掛けられる。気象庁から発表された長期予報によると、今夏は平年より暑くなるぞつだ。暑さに強いヒマワリにとっては好都合だろう。▼この夏、守山のまちでたくさんヒマワリの花たちが、お日さまに向かって花を咲かせている風景を今から楽しみにしている。私自身もヒマワリに負けず、夏バテに注意しながら充実した毎日を送りたい。